

資料 No. 4

調査票

回答するに当たってお読みください

伊那市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5 年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成 27 年度から実施予定）。

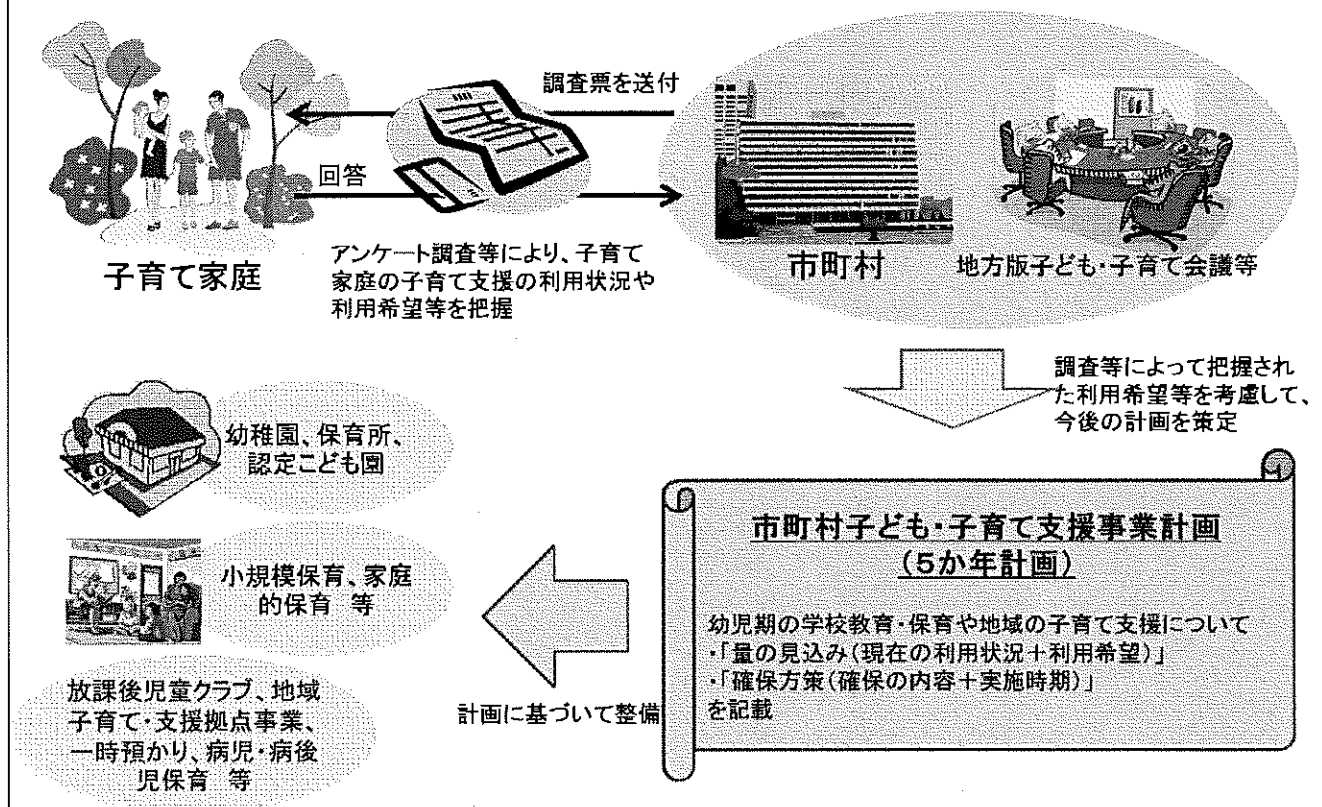
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいても構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
伊那市には、「天使幼稚園」「緑ヶ丘幼稚園」があります。
なお、「敬愛幼稚園」は認定こども園に該当します。
- ・ 保 育 所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設です。
（児童福祉法第39条）
伊那市には、「公立保育園」「つくしんぼ保育園」「伊那保育園」などがあります。
なお、「敬愛保育園」は認定こども園に該当します。
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設です（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
「敬愛幼稚園」「敬愛保育園」が認定こども園になります。
- ・ 認可外保育施設：施設面等の関係で、児童福祉法に定める認可を受けていない保育施設です。
伊那市には、「山の遊びや はらぺこ」などがあります。
- ・ 子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

※問1 お住まいの地区の小学校として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|---------|--------|---------|----------|----------|
| 1. 伊那 | 2. 伊那東 | 3. 伊那北 | 4. 伊那西 | 5. 富県 | 6. 新山 |
| 7. 美篤 | 8. 手良 | 9. 東春近 | 10. 西箕輪 | 11. 西春近北 | 12. 西春近南 |
| 13. 高遠 | 14. 高遠北 | 15. 長谷 | | | |

**宛名のお子さんご家族の状況
についてうかがいます。**

※問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

平成 年 月生まれ

※問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

※問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

※問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|------------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他 () |
|----------|---------|---------|----------|------------|

宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

問6 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※（1）母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

※（2）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問7 問6の（1）または（2）で「3. 4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問8へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※（1）母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

※（2）父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問8 問6の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問9へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

※(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

イ. パートタイムの場合 →1週当たり 日 1日当たり 時間

※(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

イ. パートタイムの場合 →1週当たり 日 1日当たり 時間

※問 10 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。（自治体における料金設定を示す）

1. 幼稚園 (天使幼稚園・緑ヶ丘幼稚園)	1・2の幼稚園を利用されている方は(1)(2)のいずれかの利用形態に○をしてください	(1). 通常の就園時間の利用
2. 認定こども園 (敬愛幼稚園・敬愛保育園)		(2). 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的なもの)
3. 保育園 (公立保育園・つくしんぼ保育園・伊那保育園) 3の保育園を利用されている方は(3)(4)のいずれかの利用形態に○をしてください	→	(3). 通常の就園時間の利用 (4). 延長保育利用
4. 認可外保育施設 (山の遊びや はらぺこ)		5. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
6. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)		7. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
8. その他の保育施設		9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
10. ファミリー・サポート・センター		11. その他 ()

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

※問 11 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」「ちびっ子広場」「子育てサークル」等です）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは 1ヶ月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
2. その他伊那市で実施している類似の事業（具体名： _____）
1週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは 1ヶ月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
3. 利用していない

※問 12 問 11 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（自治体における料金設定を示す）

1. 利用していないが、今後利用したい

1 週当たり 回 もしくは 1 ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1 週当たり 更に 回 もしくは 1 ヶ月当たり 更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

※問 13 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に 1～2 回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯

時から 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に 1～2 回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯

時から 時まで

※問 14 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい

⇒ 利用したい時間帯

時から 時まで

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

※問 15 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問9で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問20にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問15-1へ 2. なかった ⇒ 問16へ

※問 15-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□ □ 日
イ. 母親が休んだ	□ □ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□ □ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□ □ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
ケ. その他 ()	□ □ 日

問15-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にかがいます。

※問 15-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □ 日
2. 利用したいとは思わない

**宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

※問 16 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを 保育する事業）	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長預かる事業のうち 不定期に利用する場合のみ）	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	□ □ 日
4. ベビーシッター	□ □ 日
5. その他（ ）	□ □ 日
6. 利用していない	

※問 17 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 □ □ 日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	□ □ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	□ □ 日
ウ. 不定期の就労	□ □ 日
エ. その他（ ）	□ □ 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問18へ	

※問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	□ □ 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	□ □ 泊
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	□ □ 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	□ □ 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 泊
	カ. その他 ()	□ □ 泊
2. なかった	/	

**宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。**

⇒ 5歳未満の方は、問23へ

※問19 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「学童クラブ」… 保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
3. 習い事 (サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
4. 放課後子ども教室 ※1	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
5. 学童クラブ	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	→ 下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
7. その他（公民館、公園など）	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	

※1 「放課後子ども教室」… 地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。現在、伊那市では実施していません。

※問20 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
3. 習い事 (サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
4. 放課後子ども教室	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
5. 学童クラブ	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	→ 下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
7. その他（公民館、公園など）	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	

問 21 問 19 または問 25 で「5. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□ □ 時から □ □ 時まで
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□ □ 時から □ □ 時まで
3. 利用する必要はない		

問 22 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□ □ 時から □ □ 時まで
3. 利用する必要はない		

すべての方に、育児休業などについてうかがいます。

問 23 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所（園）などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ ）

問 23で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 24へ

問 23-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問24 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問25 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

伊那市独自項目

問1 お子さんは、どなたと同居していますか？ 該当全てに○をしてください。

- ① 父 ② 母 ③ 子（この人数 全員で 人） ④ 祖父 ⑤ 祖母
⑥ その他（ ）

問2 伊那市では「生きる力のある子ども」を目標に掲げ、子どもたちがより多くの経験が出来るよう、あそびや生活の工夫をして保育を行っています。今後、保育園で特に力を入れて取り組んでほしい保育はどのようなことですか？（3つ以内で選んでください）

- ① 自然と関わってのびのびと遊ぶ
② 地域との交流保育
③ 小学校との連携
④ 体づくり
⑤ 絵本の読み聞かせ
⑥ 食育、畑づくり、クッキングなど
⑦ 生活習慣（食事、着脱、清潔など）の習得
⑧ 自主性を育てる
⑨ コミュニケーション能力を高める
⑩ その他（具体的に ）

問3 保育士に求めることは特にどのようなことですか？

問4 子育てについてお聞きします。

(1) 子育てで最も大切に思っていることは何ですか？（複数回答可）

- ① 親子のふれあい
② 人とのコミュニケーション
③ 思いやりの心
④ 我慢できるようにする
⑤ 丈夫な体づくり
⑥ 個性をのばす
⑦ 自分の気持ちを伝えられる
⑧ 人の痛みがわかる
⑨ 自分のことは自分でできるようにする
⑩ 学習能力を高める
⑪ その他（具体的に ）

(2) 子育ての不安や悩みがありましたらそれはどのようなことですか？

問5 家庭での様子をお尋ねします。

(1) お子さんの起床時間、就寝時間は何時ですか？

起床時間 (時 分頃) 就寝時間 (時 分頃)

(2) お子さんは朝食、夕食を何時に食べますか？

朝食時間 (時 分頃) または ① 食べない ② 食べない日が多い

夕食時間 (時 分頃) または ① 食べない ② 食べない日が多い

(3) お子さんは朝食、夕食を誰と一緒に食べますか？

朝食 ① 家族と食べる ② 子どもだけで食べる ③ 一人で食べる

夕食 ① 家族と食べる ② 子どもだけで食べる ③ 一人で食べる

(4) 夜お子さんと外出することがありますか？

① よくある ② ときどきある ③ ほとんどない ④ 全くない

※「④ 全くない」と回答した方は、(6)へお進みください

(5) 夜お子さんと外出するところはどこですか？ 何時くらいまでいますか？ (複数回答可)

① ビデオ店 (夜 時くらいまで)

② コンビニ (夜 時くらいまで)

③ ゲームセンター (夜 時くらいまで)

④ レストラン (夜 時くらいまで)

⑤ 量販店 (夜 時くらいまで)

⑥ 習い事 (夜 時くらいまで)

(習い事の種類の種類：ピアノなど・・・)

⑦ その他 (具体的に)

(6) 休日、お子さんと何をしてすごすことが楽しいですか？

お父さん、お母さんそれぞれお答えください。

父

母

問6 今後の保育園の運営にあたり、提言や意見があればお聞かせください。

問1 宛名のお子さんが、3歳未満の方にかがいます。

(1) 保育園か認定こども園などに通園していますか。

通園している 通園していない



(2) 通園している理由を教えてください。

①就労条件による（産休・育休が取れない・取りにくい・職場復帰が難しい）

②就労したいから

③経済的理由から就労の必要があるから

④育児が大変だから・不安だから

⑤自分の時間がほしいから

⑥その他

(3) 経済的支援があれば、通園させず家庭での育児を希望しますか。

(4) 何歳まで家庭で育児をしたいですか。